

お施主様へ・製品のしおり

安全に末永くご使用いただくために、いくつかの大切な事項がありますので、本しおりをよくお読みになりまして正しくご使用ください。



注意(ガスコンロの位置)

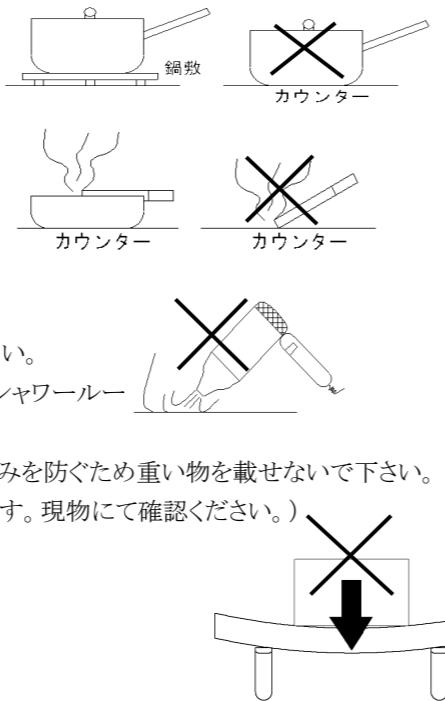
- ガスコンロとカウンターの間を15cm以上はなしてください。

注意: 設置は必ず、「設置説明書」に従ってください。



注意(一般使用上)

- 沸騰した鍋、ヤカンや油鍋等は直接カウンター表面には置かず、必ず鍋敷き等の上に置いてください。
- 火のついたタバコを直接カウンターの上に放置せず必ず灰皿を使用してください。
- ドライヤーやストーブ等の熱をカウンターの表面に直接当てないでください。
- カウンターの上で直接包丁やカッターナイフなどを使用しないでください。
- カウンター表面にかたい物を落としたり、ぶつけたりしないでください。
- カウンター基材には木質材料が使用されており、浴室、シャワールーなどの湿気の多い場所や、屋外の設置はさけてください。
- カウンターの固定にプラケットを使用している場合は、過度なたわみを防ぐため重い物を載せないで下さい。(たわみ量は荷重量及び幅寸法とプラケットの間隔により変化します。現物にて確認ください。)



メンテナンス及びご注意!

- カウンターの汚れ落しはクレンザーや金属製のタワシ類は使用しないでください。又、酸性・アルカリ性薬品、酸性・アルカリ性洗剤で拭くと変色や変質の原因となりますので、必ず中性洗剤を使用してください。
※次亜塩素酸系漂白剤等を用いて除菌する場合は、残存しないよう、良く絞った柔らかい布で水拭きし乾いた柔らかい布で拭き上げてください。
- カウンター表面は水・油などの拭き残しによる跡残りや擦れ等での表面の擦れ傷、艶の変化、エンボス・柄が消える現象等は発生することがあります。
- 水に濡れたまま放置しますと、水滴(ミネラル成分)による落ちにくく水垢付着の原因となります。ご使用後は水滴が残らないように拭き上げてください。
- 拭き取り性は色柄・仕上げ(艶)により異なります。
- ヨードチンキ、毛染め剤、養毛剤等の薬液がかかったまま放置しておきますと、表面が変色することがありますのですぐに洗い流してください。

●施工にあたってのご注意



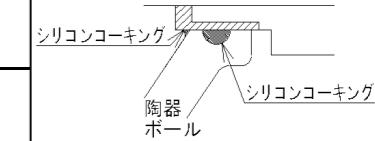
警告(お施主様の安全)

- 同封の「お施主様へ・製品のしおり」ラベルは、お施主様の使用方法、メンテナンスの表示がされておりますので、加工後に必ず製品の表面に貼付してください。



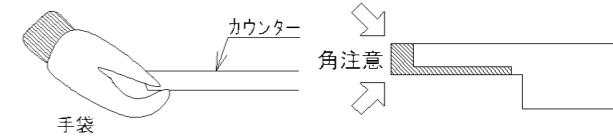
注意(漏水防止)

- 漏水の原因となりますので、アンダーシンクのボール接合の際は、コーリング(シーリング)を充分に行ってください。



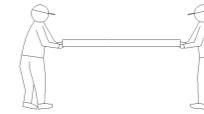
注意(手袋の着用)

- カウンター端部で手を切ったり、基材のササクレで指に物がささったりすることがありますので、必ず手袋を着用してください。
- アンダーシンクの木口端部で手を切ることがありますので、ボール取付け時は必ず手袋を着用してください。



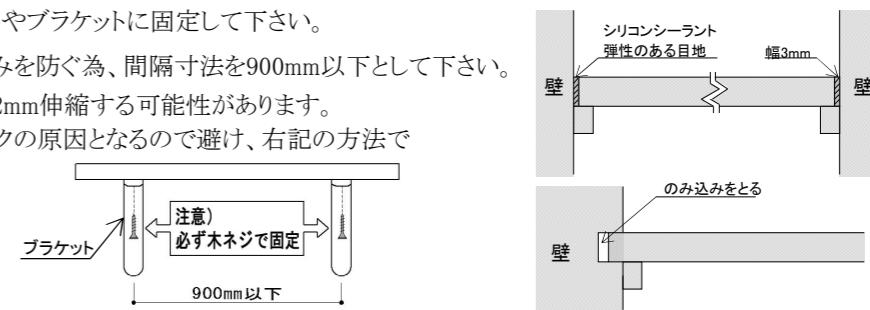
注意(運搬)

- 運搬時に落下して足を損傷することがありますので、2名で作業してください。



注意(カウンターの固定)

- 落下防止及び温度・湿度の影響による反り防止の為にカウンターは必ず木ネジ等でキャビネットやプラケットに固定して下さい。
- プラケットを使用する場合は過度なたわみを防ぐ為、間隔寸法を900mm以下として下さい。
- 1mのカウンターで、環境の変化により約2mm伸縮する可能性があります。カウンターの両端を止める納まりはクラックの原因となるので避け、右記の方法で施工してください。



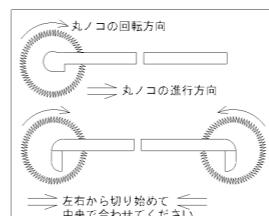
※木口共貼り材の同梱指示のある製品には木口材が梱包に貼ってありますのでご注意ください。

●施工の前に

- 商品を正しく施工・取扱いいただく前に、施工前に必ず商品をご確認いただき、この「施工の説明書」を熟読してください。
- 開梱時に於いて、万一商品に傷等がある場合は、施工前にご購入先までご連絡願います。

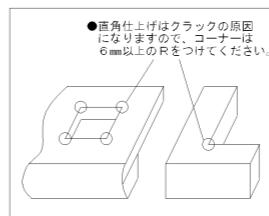
1. 切断

丸ノコか金ノコを使い、必ずR面から切り始めてください。



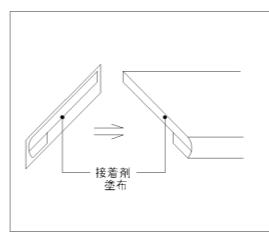
2. 穴あけ切り抜き

コーナー部分にドリル穴をあけてから切断してください。



3. 木口貼りの方法

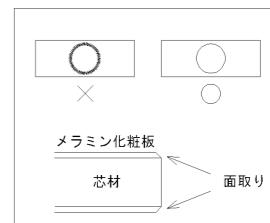
ゴム系接着剤を両方に均一に塗り、1mm程はみ出るように圧着します。はみ出し部は接着固定後、カンナか面取り機で落とします。



※木口材表面にテープのり残りがある場合は、弱溶剤で拭き除去してください。

4. 切断面の仕上げ

切断や穴あけは、切れ味の良い刃物を使用し、化粧面に割れや欠けが生じないようにし、切れ味のにぶった刃物での無理な加工はさけてください。小さなひび割れや欠けはヤスリまたはサンドペーパーなどで面取り加工し、仕上げるようにしてください。



5. ビス(木ネジ)を使用される場合

表面のメラミン化粧板面へビス(木ネジ)を打ち込む場合、必ず下穴をあけ、ビスを打ち込んで下さい。メラミン化粧板へ直接ビスを打ち込みますと、化粧板にクラックが発生する可能性があります。

